

5. 所定外労働の免除について

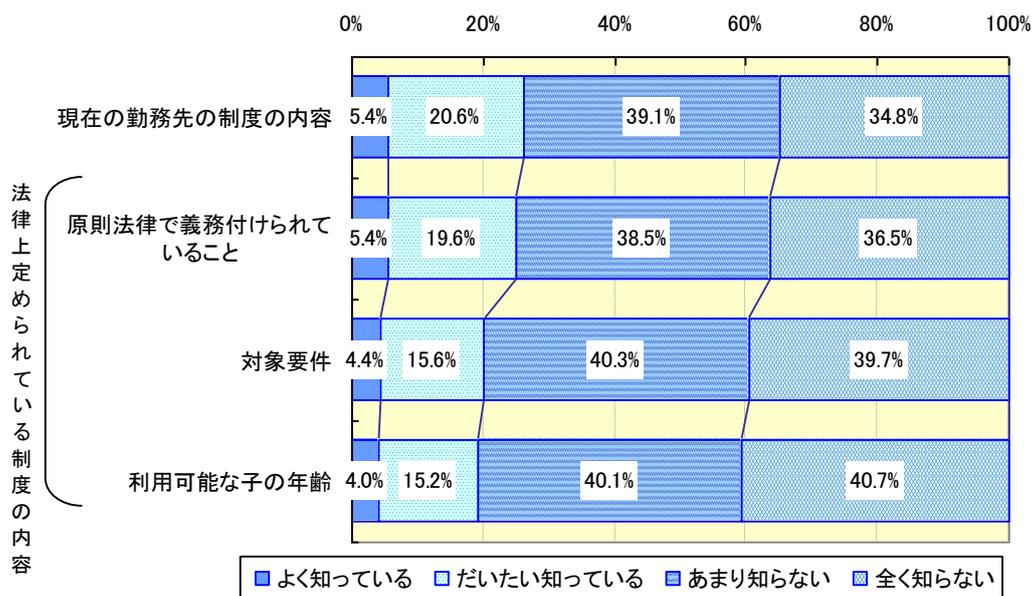
(1) 所定外労働の免除の認知状況

所定外労働の免除の認知状況について、「男性（正社員）」をみると、「現在の勤務先の制度の内容」については、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた知っている割合は26.0%である。また、法律上定められている制度の内容（「原則義務づけられていること」「対象要件」「利用可能な子の年齢」）の認知状況をみると、いずれも2割前後である。

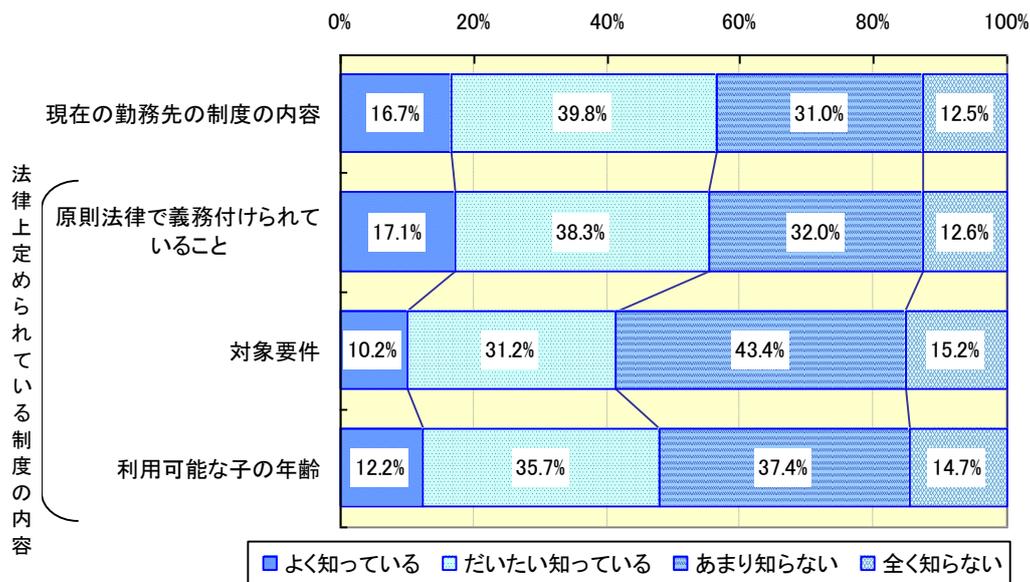
「女性（正社員）」をみると、「現在の勤務先の制度の内容」については、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた知っている割合は56.5%である。また、法律上定められている制度の内容については、「原則法律で義務づけられていること」は55.4%、「対象要件」および「利用可能な子の年齢」についてはおおむね4～5割である。

「女性（非正社員）」をみると、「現在の勤務先の制度の内容」については、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた知っている割合は15.4%である。法律上定められている内容（「原則義務づけられていること」「対象要件」「利用可能な子の年齢」）の認知状況をみると、いずれも15%前後である。

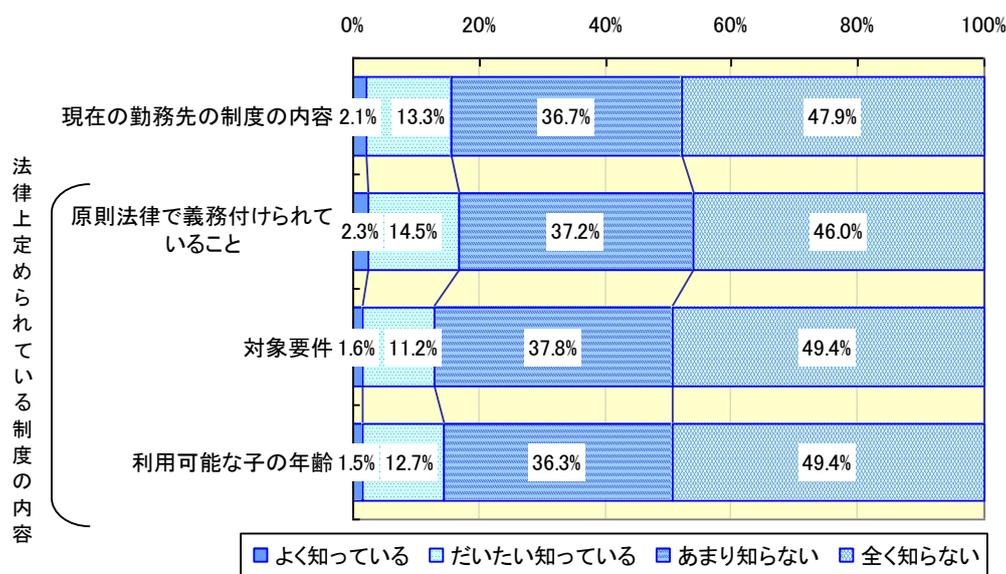
図表Ⅲ-75 男性（正社員）：所定外労働の免除の認知状況：単数回答（Q27） n=2,248



図表Ⅲ-76 女性（正社員）：所定外労働の免除の認知状況：単数回答（Q27） n=1,131



図表Ⅲ-77 女性（非正社員）：所定外労働の免除の認知状況：単数回答（Q27） n=1,109

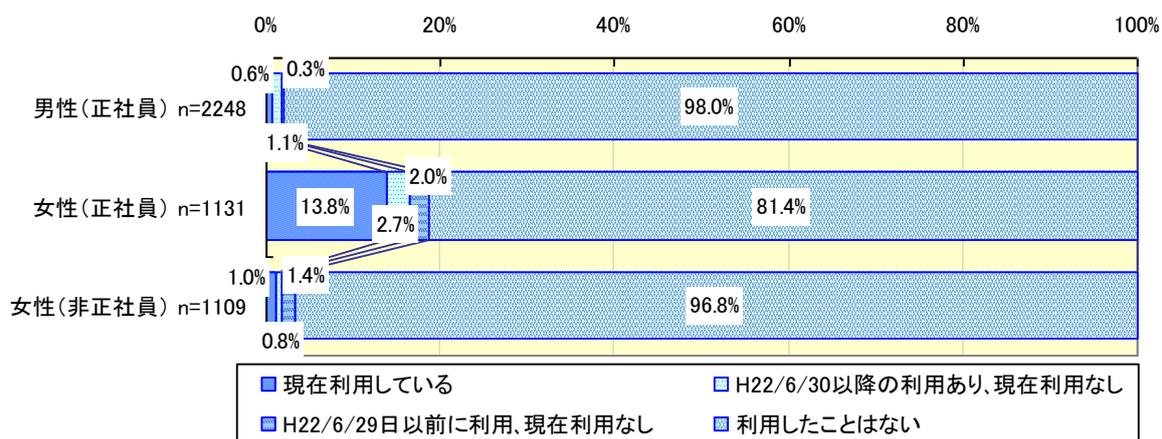


(2) 所定外労働の免除の利用経験

所定外労働の免除の利用経験をみると、「男性（正社員）」および「女性（非正社員）」は「利用したことはない」が95%以上を占めている。

「女性（正社員）」は、「現在利用している」（13.8%）と以前は利用していたが、現在は利用していない人（4.7%）を合わせると、2割弱に利用経験がある

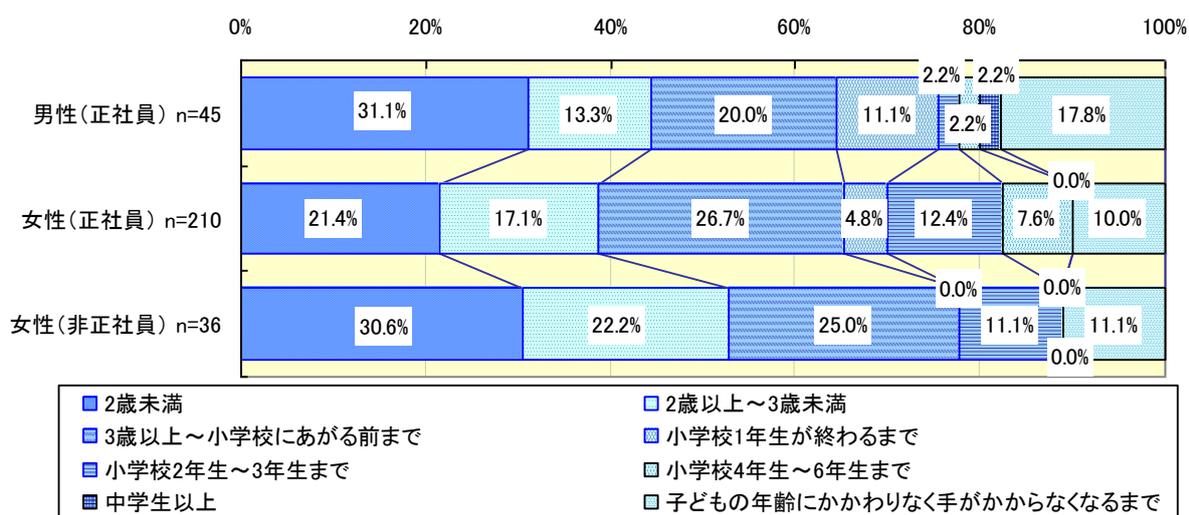
図表Ⅲ-78 所定外労働の免除の利用経験：単数回答（Q28-1）



(3) 所定外労働の免除の利用期間

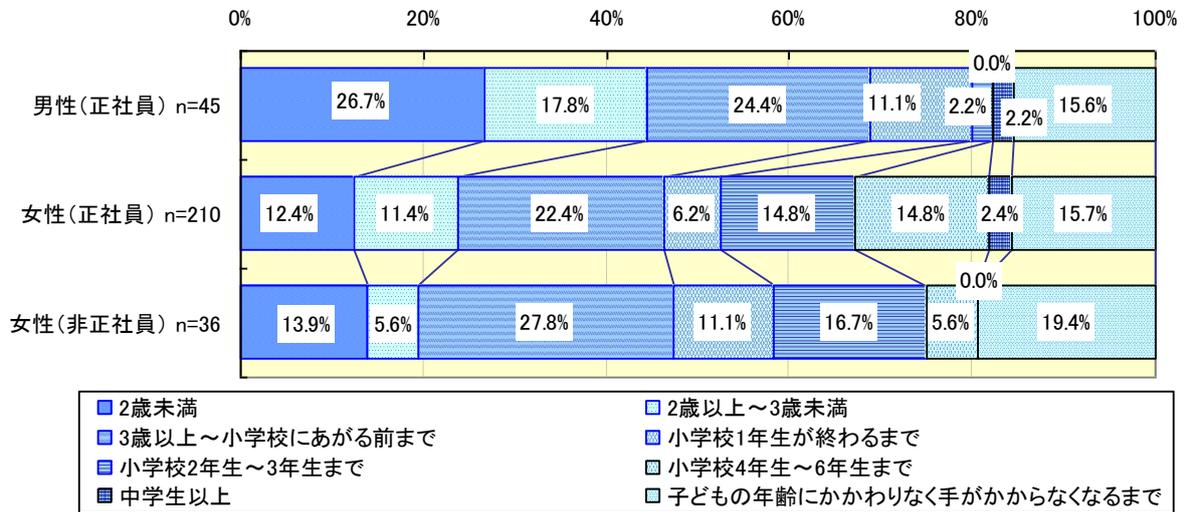
所定外労働の免除の利用経験者について、実際の利用期間をみると、「女性（正社員）」では、「2歳未満」（21.4%）や、「3歳以上～小学校にあがるまで」（26.7%）の割合が比較的高い。

図表Ⅲ-79 所定外労働の免除の実際の利用期間：単数回答（Q29-1）



また、所定外労働の免除の利用を希望する期間をみると、「女性（正社員）」は「3歳以上～小学校にあがるまで」（22.4%）の割合が最も高く、次いで「子どもの年齢にかかわらず手がかからなくなるまで」が15.7%となっている。また、小学校2年生～6年生までが29.6%と、実際の利用期間に比べて、希望する期間では小学生の期間の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-80 所定外労働の免除の利用を希望する期間：単数回答（Q29-2）



所定外労働の免除の実際の利用期間別に、希望する利用期間をみると、両者が一致している割合はおおむね6割前後で、両者が一致していない人では、実際の利用期間よりも、希望する利用期間の方が長くなる傾向にある。

図表Ⅲ-81 実際の利用期間別 所定外労働の免除の利用を希望する期間：単数回答（Q29-2）

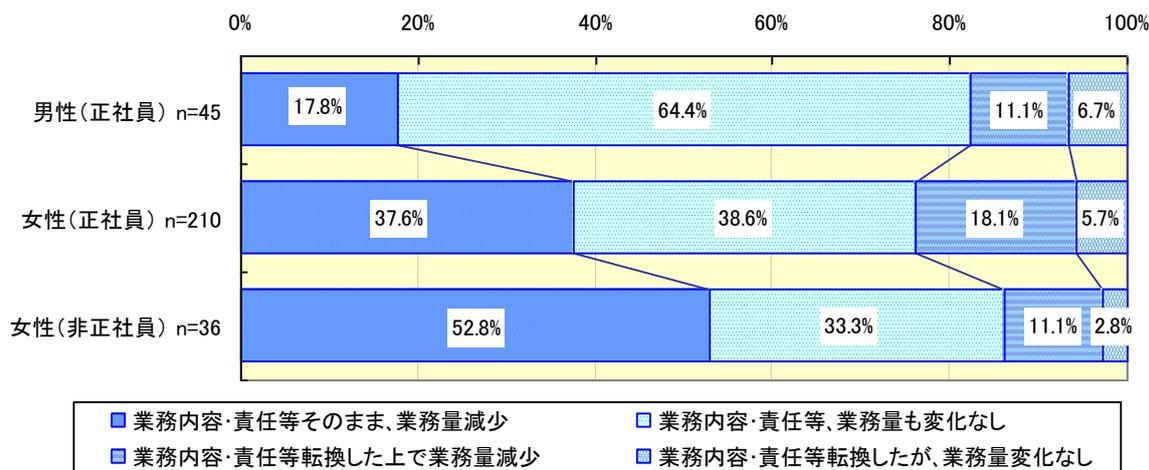
		合計	Q29(2) 所定外労働の免除の希望利用期間							
			2歳未満	2歳以上～3歳未満	3歳以上～小学校にあがる前まで	小学校1年生が終わるまで	小学校2年生～3年生まで	小学校4年生～6年生まで	中学生以上	子どもの年齢にかかわらず手がからなくなるまで
全体		291 100.0	43 14.8	34 11.7	68 23.4	22 7.6	38 13.1	33 11.3	6 2.1	47 16.2
Q29(1) 所定外労働の免除の実際の利用期間	2歳未満	70 100.0	43 61.4	5 7.1	10 14.3	4 5.7	4 5.7	2 2.9	0 0.0	2 2.9
	2歳以上～3歳未満	50 100.0	0 0.0	27 54.0	7 14.0	4 8.0	5 10.0	3 6.0	1 2.0	3 6.0
	3歳以上～小学校にあがる前まで	74 100.0	0 0.0	1 1.4	44 59.5	7 9.5	8 10.8	6 8.1	3 4.1	5 6.8
	小学校1年生が終わるまで	15 100.0	0 0.0	0 0.0	4 26.7	4 26.7	4 26.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7
	小学校2年生～3年生まで	31 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.2	1 3.2	17 54.8	10 32.3	0 0.0	2 6.5
	小学校4年生～6年生まで	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	0 0.0	11 64.7	0 0.0	4 23.5
	中学生以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	子どもの年齢にかかわらず手がからなくなるまで	33 100.0	0 0.0	1 3.0	2 6.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	30 90.9

(4) 所定外労働の免除の利用による仕事内容の変化

所定外労働の免除の利用による仕事内容の変化をみると、「女性（正社員）」では、「業務内容・責任等はそのままで、業務量が減少した」（37.6%）と、「業務内容・責任等はそのままで、業務量も変わらなかった」（38.6%）がそれぞれ4割弱を占めている。

また、サンプル数がやや少ないことに留意が必要であるが、「男性（正社員）」は「業務内容・責任等はそのままで、業務量も変わらなかった」（64.4%）が、「女性（非正社員）」は「業務内容・責任等はそのままで、業務量が減少した」（52.8%）の割合が高い傾向がみられる。

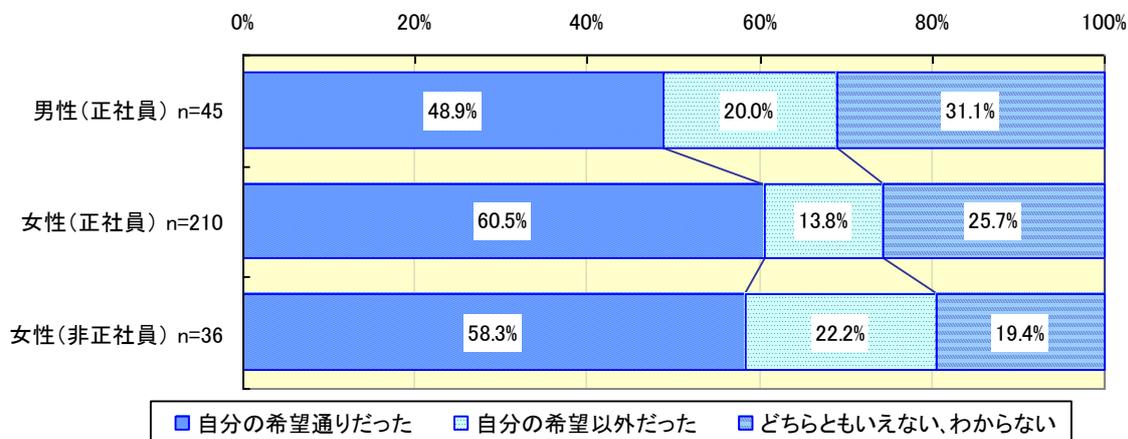
図表Ⅲ-82 所定外労働の免除の利用による仕事内容の変化：単数回答（Q30-1）



所定外労働の免除の利用による仕事内容の変化について、自分の希望との合致状況をみると、「女性（正社員）」では、「自分の希望通りだった」が60.5%で最も割合が高いが、「自分の希望以外だった」も13.8%と1割強となっている。

また、「男性（正社員）」および「女性（非正社員）」では、「自分の希望以外だった」がそれぞれ約2割を占めている。

図表Ⅲ-83 所定外労働の免除の利用による仕事内容の変化について、自分の希望との合致状況：単数回答（Q30-2）



所定外労働の免除の利用による仕事内容の変化別に、自分の希望との合致状況をみると、「業務内容・責任等はそのままで、業務量が減少した」では、全体と比較して、「自分の希望通りだった」(66.0%)とする割合が高いが、「所定外労働の免除になじみやすい業務内容・責任等へ転換した上で、業務量も減少した」では、「自分の希望以外だった」(27.7%)とする割合が高い。

図表Ⅲ-84 所定外労働の免除の利用による仕事内容の変化について、自分の希望との合致状況：単数回答 (Q30)

		合計	Q30(2) 所定外労働の免除による仕事の変化の合致状況		
			自分の希望通りだった	自分の希望以外だった	どちらともいえない、わからない
全体		291 100.0	170 58.4	46 15.8	75 25.8
Q30(1) 所定外労働の免除の利用による仕事内容の変化	業務内容・責任等そのまま、業務量減少	106 100.0	70 66.0	10 9.4	26 24.5
	業務内容・責任等、業務量も変化なし	122 100.0	75 61.5	20 16.4	27 22.1
	業務内容・責任等転換した上で業務量減少	47 100.0	19 40.4	13 27.7	15 31.9
	業務内容・責任等転換したが、業務量変化なし	16 100.0	6 37.5	3 18.8	7 43.8